

西大和つうしん

2017年5月号
No.419



4月に新雪のカトラ谷をアイゼン装着で登る <2017年4月2日金剛山にて>

奈良県勤労者山岳連盟
西大和山の会

西大和つうしん

第419号（2017年5月号）

【目 次】

5月度山行計画	2
6月度山行計画	3
5・6月度カレンダー	4
山行・行事等参加メモ	5
山行報告	
・自主山行 《4/1》 信貴生駒 平群福貴畑～十三峠（今井）	6
・例会山行 《4/2》 金剛山地 金剛山（船江）	7
・登山学校 《4/8》 比良の山 白滝山～打見山（杉森・藤本）	8
・自主山行 《4/12》 金剛山地 ダイトレ縦走（杉森）	10
・自主山行 《4/15》 六甲山系 高座ノ滝～荒地山（亀高）	11
・教育講座 《4/16》 台高の山 学能堂山（藤本）	12
近畿ブロック搬出技術講習会：ハイキングコース（4/2）	14
第36回定期総会（3/26）	16
室内例会だより（3/26）	17

5 月 度 山 行 計 画

～日本一低い小野アルプスに登りましょう～

例会山行1 兵庫の山 《小野アルプス 紅山 182m》

【日 程】5月7日(日) (L田中悦男)

【集 合】上牧役場前駐車場 7:00 出発

【コース】ゆびか温泉駐車場～(20)～高山～(45)～愛宕山～(1h)～総山～(25)～惣山～(35)～岩倉峠～(20)～紅山～(25)～岩山～(25)～福甸峠～(25)～鴨池公園

※歩行時間 約4時間40分

～搬出技術とあわせて応急処置(テーピング)の方法も学びましょう～
主催：奈良県勤労者山岳連盟救助隊(隊長：藤田章貴)

例会山行2 「ハイカーのための搬出講習会」

今期から、従来実施してきた形式で、山中フィールドでの「ハイカーの為の搬出講習会」を実施します。午前中は捻挫等をした後のテーピング固定の講習、午後から事故発生後の搬出の基本技術の講習と山道での搬出を行います。但し、雨天時は状況に応じて内容変更します。

【日 程】5月14日(日)

【運 営】藤本武司(県連救助隊事務局) / 本会リーダー：野路政子

【会 場】高取山(上子島砂防公園～高取城跡)

【集 合】上子島砂防公園(高市郡高取町上子島)

<http://sightseeing.takatori.info/sightseeingspot/kamikosima.html>

- ・近鉄壱阪山駅から徒歩で、約40分
- ・周辺に数台路上駐車可ですが、乗り合わせて来てください。

【持ち物】ハイキング時の通常持参装備、ホワイトテープ(38mm幅)1個

【スケジュール】 9:00 集合

9:10～ 上子島砂防公園で、テーピング講習

11:30～ 高取城址登城

12:30～ 本丸付近で、昼食

13:00～ 国見櫓跡で、搬出法基本講習 & 山道での搬出

16:00 解散

～2回に分けて、六甲全山を縦走しよう～

例会山行2 六甲山系 《六甲縦走 西コース》

【日 程】5月21日(日) (L亀高茂)

【集 合】山陽電鉄 須磨浦公園 8:00

【交 通】・王寺 6:07→6:40 新今宮 6:41→6:59 大阪 7:06→(※JR 新快速網干行)
→7:47JR 須磨/山陽須磨 7:57→7:59 須磨浦公園

・生駒 6:17→6:42 本町 6:48→6:52 梅田/大阪 7:06→(※JR 新快速網干行)
※大阪 7:06 発 JR 新快速網干行に乗車

・大和高田 6:00→五位堂 6:04→6:26 鶴橋 6:33→6:59 尼崎(阪神)7:06
→(阪神直通特急)→7:48 山陽須磨 7:51→7:53 須磨浦公園

【コース】須磨浦公園(8:10)～旗振山(8:50)～鉄拐山(9:00)～おらが茶屋(9:10)～
柁尾山(9:40)～横尾山(10:00)～馬ノ背(10:10)～東山(10:20)～妙法寺
(10:50)～高取山(11:30/50 昼食)～丸山登山口(12:25)～鶯越駅(13:00)
～菊水山(14:00)～天王吊橋(14:40)～鍋蓋山(15:00)～再度山(15:20)～
市ヶ原(15:45)～布引貯水池(16:15)～新神戸駅(17:00)

※歩行時間 約8時間50分(昼食・休憩時間含む)

※歩行距離 約23km

6 月 度 山 行 計 画

～県連主催クリーンハイク～

例会山行1 宇陀の山 《額井岳 812.3m》

【日 程】6月4日(日) (L田中悦男)

【集 合】榛原駅南出口 8:20 天満台行 8:34 発

【コース】天満台バス停～(25)～十八神社～(50)～額井岳頂上～(50)～戒場山頂
上～(20)～戒長寺～(38)～天満台バス停

【帰 り】天満台2丁目 発 13:00/13:18/14:00/14:16/15:16/16:16

※ 歩行時間：約3時間

西大和山の会 カレンダー

5月			6月		
1	月		1	木	
2	火		2	金	
3	水		3	土	
4	木		4	日	例会山行1 クリーンハイク・額井岳(田中悦)
5	金		5	月	
6	土		6	火	県連・理事会
7	日	例会山行1 小野アルプス(田中悦)	7	水	
8	月		8	木	県連初級登山学校・座学⑤
9	火	県連・理事会	9	金	
10	水		10	土	県連初級登山学校・実技山行⑤
11	木	県連初級登山学校・座学④	11	日	(クリーンハイク・予備日)
12	金		12	月	
13	土		13	火	
14	日	例会山行2 ハイカーのための搬出講習会(野路)	14	水	
15	月		15	木	
16	火		16	金	
17	水		17	土	県連40周年記念講演会
18	木		18	日	例会2(夏山訓練) 御在所岳～国見山(島崎)
19	金		19	月	
20	土		20	火	
21	日	例会山行2 六甲山縦走西コース(亀高)	21	水	西大和つうしん原稿締切
22	月		22	木	
23	火		23	金	
24	水	西大和つうしん原稿締切	24	土	
25	木		25	日	例会山行2 赤井谷～深仙(藤本)
26	金		26	月	
27	土		27	火	
28	日		28	水	6月度室内例会
29	月		29	木	
30	火		30	金	
31	水	5月度室内例会			

山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	4/26 室内 例会	例会1	例会2	例会2	例会1				
			5/7 小野 アルプス	5/14 搬出 講習会	5/21 六甲 縦走	6/4 クーン ハイク				
1	(窪田)									
2	都築									
3	藤井									
4	(石田)									
5	田中悦		LO			LO				
6	島崎									
7	田中初									
8	村田									
9	林									
10	辻									
11	勝尾									
12	藤本									
13	杉村									
14	高橋									
15	玉越									
16	阪口									
17	橋本									
18	今井									
19	亀高				LO					
20	亀井									
21	船江									
22	野路			LO						
23	中									
24	杉森									
25	上田									
26	永井									
27	川田									
	合計									
	緊急 連絡先									

L:リーダー、O:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

山行報告

自主山行（教育部スタッフ研修）

信貴生駒 平群福貴畑～十三峠

【日 程】 4月1日（土）・曇り一時晴れ

【参加者】 L 藤本(※18kg)・今井(※14kg)・野路(※13kg) (3名) ※歩荷重量

【コースタイム】 平群駅(9:25)～白山神社〔歩荷重量計測〕(10:25/39)～星ノ尾墓地(10:59/11:15)～三角点 238.6(11:36)～福貴畑桃源郷〔昼食・散策〕(11:54/13:54)～福貴畑集落センター(14:09)～十三峠(14:53/15:02)～下山路入口(13:28)～櫛原トンネル南詰(16:14/24)～元山上口駅(17:03)

初めての教育部スタッフ研修山行：歩荷&地図読み&花見と盛り沢山の山行。歩荷して地図読みしながら花見の余裕が有るだろうか？と思いながら参加。



重いザックを背に平群駅に集合後、途中で花見弁当？を調達して出発。現在地を確認しながら進み、白山神社でお参りの後、各々のザックの計測を行い、白山神社の裏道の急登を星ノ尾墓地へ向かう。墓地から花見を楽しみながら三角点 238.6 を目指す。確認出来るかな？と思っていた三角点が意外にも、廻りの木の伐採と赤い印の棒で難なく確認出来た。三角点から桃源郷を目指し、素晴らしい景色に出会う。



う。ケイオウ桜、サンシュユ、白モクレン、紫モクレン、紅白の桃、紅白の椿、ボケ、色付き始めたレンギョウ等で春爛漫。



まさしく桃源郷。今迄見た福貴畑で今日が最高の景色に思えた。花に癒され、いつしか背のザックの重さは忘れていた。桃源郷で花見しながら昼食を摂り、花見を堪能した後は十三峠に進み下山路分岐へ。初めての山道、分岐～櫛原トンネル南詰への道をルートファインディングしながら進む。



地形図と現地の地形を見比べながら分岐の入口を探す。人ひとり通れるかどうかの狭い道に赤いテープ、進もうとすると、Lより地形図の実線の道幅はいくらでした？との質問。いくらだっけ？ 2m 位だったかな？とうろ覚え。進もうとした道幅は地形図には表れない道と気づく。その後は分岐、送電線、鉄塔等の情報を慎重に確認しながら櫛原トンネル南詰に到着出来た。



帰宅後、早々に地形図の実線は幅員 1.5m～3m を確認、不勉強を実感する。また赤いテープに惑わされた事、藪こぎの道と勝手に思い込んだ事等、反省材料いっぱいである。頼りないスタッフ

でLには本当に申し訳なく思った山行だった。

(記：今井雅代)

例会山行1（公開山行）

金剛山地 **金剛山** 1,125m カトラ谷コース

【日 程】4月2日（日）晴れ

【参加者】L辻・SL田中悦・勝尾・亀高・船江・中・上田（7名）

【コースタイム】青崩登山口(7:53)～セト分岐(9:15)～カトラ谷出合(9:45)～山頂広場(11:03/55 昼食)～セト分岐(12:20)～青崩登山口(13:35)

公開山行であったが、結果的には会員のみでの山行。週末に寒波があった為、前日にしのTさんから、「金剛山に積雪あり。軽アイゼン持参」の連絡があった。

青崩登山口は既に車がいっぱい。登りはじめからの急坂階段で、すぐに汗が吹き出し20分ほど登ったところで衣服調整をする。セトまでの間で積雪も増え、セト分岐でアイゼン装着。LのTさん、さすがです。的確な指示を感謝！

4月の金剛山で、まさかのアイゼン雪見山行。今期はもう雪は踏むこと無いか？と思っていたので意外なご褒美で嬉しい。カトラ谷出合までの激下り、巨大な倒木をまたぎ、山頂までの積雪の急登。幸い今回は会員のみだったが一般参加の方がおられたら、このコースは回避したであろう。

山頂広場では、春休みの家族連れが最後の雪遊びを楽しんでいた。一面の真っ白な雪が眩しい。なにやらNHK奈良の取材班も・・・？

カトラ谷は花の道。ニリンソウ、クリンソウ、ヤマシャクヤク、カタクリの群生地があると教えていただく。私はこのコースは初めてだったので、花の時期に

また来る楽しみが出来た。地元で親しまれる金剛山。いろんなコースがあり奥深い。下山すると春の陽気。ほんの数時間で、冬と春を感じた山行だった。

早く下山出来たので、「ラッテたかまつ」に立ち寄り、ここは当然アイスクリームでしょ！で、ご馳走していただきました。ありがとうございました。

（記：船江照代）



県連初級登山学校・第1回実技山行 (テーマ：リーダー研修)

比良の山 白滝山 1,022m～打見山 1,108m

- 【日程】4月8日(土) 曇り一時雨〔緊急ビヴァーク〕～4月9日(日) 曇り
【参加者】◆県連教育部◆：藤本(西大和)・杉川(奈良労山) ◆受講生◆：L 杉森、他会：奈良 HC2・こぶし1 (計6名)
【コース】4月8日：堅田駅(8:50)＝坊村(9:36/10:30)～三の滝(11:05)～伊藤新道出合(11:10/23)～ワサビ大滝(12:20)～白滝山(14:20)～長池(15:00)～汁谷(17:20)～打見山(18:00) 打見山山頂駅近くでビヴァーク//4月9日：打見山山頂駅(9:00)＝(ロープウェイ)＝山麓駅＝志賀駅(9:30)

◆09:36◆坊村着、講師から「まず最初に何をしますか?」と言われ一寸戸惑ったが、山行計画書のことだと分かり近くの派出所に届けに行く。巡査からコース全体の積雪状況等を聞く。白滝山から打見山まで積雪は少ないだろうとのことだった。その後、ミーティングを開き、気象状況、行動予定などの報告と説明をする。

◆11:10◆伊藤新道出合着、講師より分岐では「標識」に頼らず、自身で確認するよう言われた。早速、地図・コンパスを取り出し地形図を読み込んで現在地の確認をする。講師から「標識に頼り切ってはいけない。極端な話、誰かが向きを変えていたり、あるいは風で方向が変わることもある。あくまで自分の力で現在地を確認する必要がある。」と言われた。やがて残雪が現れる。アイゼンをつける必要はなかったが時々足を取られた。また、泥や落葉で滑りやすく登りにくかった。

◆12:20◆ワサビ大滝着、講師から「これからの行動予定について検討せよ」と言われ、メンバーと次の2つの方法について協議する。①元のルートで坊村に下山する。しかしながら、残雪の急斜面を下るのはかなり危険である。②白滝山頂上～打見山＝ロープウェイで下山する。派出所の情報からも頂上一帯は積雪は少なく、ロープウェイの最終出発時刻までに十分間に合うと考えられる。リーダーとして②の選択肢を採用することを決断した。



白滝山への急登は雪と泥でかなり滑った。ようやく白滝山の頂上に着く。尾根の左は冬で、右は早春の佇まいである。直ぐに下山路を検討し、打見山へ向けて出発する。雨や気温の上昇のためか雪上のトレースは残っていなかった。そのためテープと送電線と地図を頼りに歩く。あるコルでは方向を見失ったが、講師の助言によりルートを確認できた。4度の渡渉を経て、最後の谷を渡る橋を見つけた時点でロープウェイ最終の出発時刻(17:00)が過ぎた。この時点で歩いての下山が決定。



雪は深く、歩みは捗らず、
時間ばかり過ぎてゆく…

◆17:30◆木戸峠着、クロトノハゲへのトラバース道を偵察したが、雪の急斜面に道の面影はなかった。結局、メジャーなルートでまずは打見山を目ざす。

◆18:00◆打見山山頂駅着。この後、クロトノハゲへの登山道へ向かうが、迫る宵闇の中、雪も霧もいよいよ深く、最後にまだたくさん建物のあるここ打見山に留まった方が安全と判断し緊急ビバーク。その後、1時間もせぬうちに外は嵐となった。強行下山しなくて良かった。

◆翌4月9日：09:00◆打見山山頂駅発、強風でロープウェイ運休の心配もあったが、始発に乗ることができ山麓駅に無事到着。

ビバークをはじめ、多くの「初めて」を経験した山行だった。研修目的のリーダーとメンバーの役割分担については、あらゆる場面においてその重要性を認識させられた。今後更に研修を深め、真にリーダーシップを発揮できるよう努力を続けようと思う。細かい所では、ビバークの経験を今後の装備に活かしたいと考える。

最後に、これまで懇切丁寧なご指導を頂きました、講師の藤本様、スタッフの杉川様に心より感謝申し上げます。また、不慣れなリーダーにもかかわらず全面的に協力していただきましたメンバーの皆様にもお礼申し上げます。

(記：杉森英二)

《付記》最初の実技山行から緊急ビバークをすることとなり、なるほど多くを経験できた山行とも言えるが、安全に当日下山をする方法を選択できなかったのは、指導者側の判断にも問題があったと大いに反省している。坊村からの最終バス(15:46)に間に合うように引返す最後のタイミングはワサビ大滝だったが、結果としてこの選択肢は採用しなかった。直前の登りで谷沿い急斜面のトラバースが泥と残雪で非常に滑りやすく、同じルートを下る困難さばかりが頭にあったこと、その地点までの受講者の歩行技術を見るに、ほとんど問題を認めなかったこと、さらには、坊村の派出所で巡査より仕入れた「積雪はほとんどない」という情報から、無雪期に近いコースタイムを想定したことがその理由である。しかしながら、現実には、予想以上の積雪とアップダウンの繰り返して所要時間は倍増、加えて複雑な地形ゆえにルート選定が難しく、また雪融けで増水した渡渉箇所の続出と、マイナス要因ばかりが重なった。ビバークのための団体装備に不備はなかったが、受講生の個人装備にはさすがに不足があり、スタッフ側の個人装備でこれを補わざるを得なかった。

一方受講生とは言えば、リーダー・メンバーともに、常に明るく意欲的、不安の色も見せず、悲観的な言動は一切なかった。これは、もしかすると我々スタッフに対する(根拠のない)全幅の信頼があったからなのかもしれないが、それならば一層、最善の結果に導けなかった我々の未熟さに忸怩たる思いが募るのである。

緊急ビバークは、受講生はもちろん、スタッフにとっても初めての経験であった。この初体験を乗り切るためにパーティー全体が全力を傾けたことは間違いないが、これが無事で済んだことはあくまで僥倖と考え、今一度謙虚に問題点を検証して今後活かさねばなるまい。

(記：藤本武司)

自主山行

ダイヤモンド・トレイル縦走 二上山～紀見峠

【日 程】4月12日(水) 曇り一時雨のち晴れ

【参加者】L辻・SL島崎・今井・杉森(4名)

【コースタイム】傘堂(5:40)～岩屋峠(6:20)～平岩峠(7:30)～岩橋山(8:25)～葛城山(10:25/10:37)～水越峠(11:35)～ちはや園地(13:50/14:05 昼食)～千早峠(15:30)～行者杉(16:05)～西ノ行者(17:00)～紀見峠(17:55)～紀見峠駅(18:25)

昨年に引き続き、二上山から紀見峠までの所謂ダイヤモンド・トレイルを歩く。個人的には夏山縦走の体力を試すため初めての挑戦である。30数キロという、これまで経験したことのない長い山行であり、2度程訓練を積んで本番に臨んだ。

まだ薄暗い傘堂を出発、岩屋峠～竹ノ内峠までは満開の桜を眺め、鶯の鳴き声を聞きながら気持ち良く歩く。竹ノ内峠を過ぎてまもなく泥んこ道になる。平石峠からは雨が降り出し、泥んこ道は更にひどくなる。

まるで田んぼの中を歩いているようだ。滑らないよう常に足元に注意して歩くが、時にはサンシュユの木を見つけたり、小さな新芽に触れたりして心が癒された。岩橋山、葛城山、金剛山のそれぞれの登りは、嫌な階段が続いたけれどもみんな慎重に黙々と登った。岩屋峠から水越峠までのコースタイムは昨年より40分程度遅い結果になったが、これは明らかに泥んこコースによるものと思われる。金剛山の登りで、Iさんに少しアクシデントがあり、金剛山山頂からロープウェイで下山することになった。

ちはや園地で遅い昼食をとり、元気を取り戻して紀見峠までの後半に挑んだ。

雨もすっかり上がり青空が見える尾根道は足取りも軽い。多少のアップダウンの繰り返しだが西ノ行者あたりまで続く。30キロを過ぎるとさすがに膝に疲れを感じる。山ノ神までの長い長い階段を下り、ようやく紀見峠に着いた。

悪路の中、約12時間30分の山行で疲れ果てましたが、充実感と達成感を十二分に味わうことができた有意義な山行でした。

(記:杉森英二)



自主山行

六甲山系 高座ノ滝～荒地山 549m

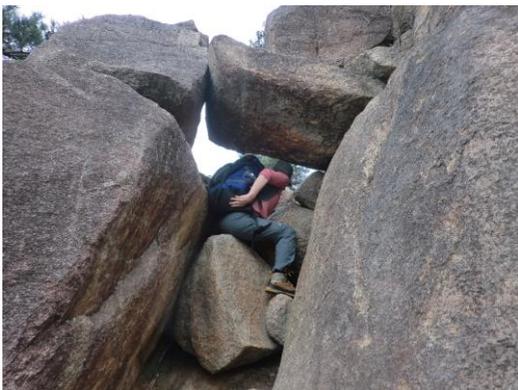
【日 程】 4月 15日 (土) 晴れのち雨

【参加者】 L 亀高、SL 今井、船江、杉森 (4名)

【コース】 芦屋川駅(8:00)～高座ノ滝(8:33)～キャッスルウォール(9:20)～七右衛門
 崕(9:33)～荒地山(10:13)～横池(10:40/50)～風吹岩(11:00)～地獄谷入
 口(11:55)～高座ノ滝(12:12)～芦屋川駅(12:40)

この夏の大キレット参加者で、岩稜歩行訓練第一弾を敢行。雨の予報の雪彦山を避け、行先を高座ノ滝方面に急遽変更した。芦屋の閑静な住宅街を抜け、高座ノ滝から、家族連れや若者でにぎわうロックガーデンの方向でなく、高座谷方面へと足を踏み入れる。やがて垂直にそびえるキャッスルウォールが見えてきた。ロープを使って岩登りを楽しむロッククライマーに巻道を教わり、岩稜歩行訓練の始まりだ。巻道とは言っても急勾配の岩登りには変わらない。キャッスルウォールの大岩の上に達すると西宮から神戸東部の瀬戸内海を行き交う船が見え、新緑と花に包まれた六甲の山並が美しい。

ひとしきり景色を楽しんだら、岩登りの再開だ。岩梯子をよじ登り、七右衛門崕の狭い岩の隙間をリュックおろしてくぐったところに、大岩が水平にせり出しているテーブルロックがあった。生憎、先客がくつろいでいたのでスルー。今度来たときは、岩のテーブルでお茶でも沸かして休憩しよう。やがて、尾根筋に到達し、程なく荒地山に到着した。この頃からロックガーデン方面から登ってきた多くの人とすれ違う。大峰の山とは異なり、おしゃれな若者が多い。



横池の湖畔で早めの昼食を取ることにした。食べ始めたころから雨がポツポツ降り出し、傘をさして昼食のおにぎりを頬張っていると、背後から大きな猪が1mほどの近さまで迫っているのに気づいた。思わず、広げた傘を猪の眼前に突き付け、大きな声を出して威嚇すると、猪はゆっくりと後ずさりした。が、いくら脅しても逃げる様子

はなく、じっとこちらを窺っている。昼食の継続は諦め、そそくさと荷物をまとめて早々に湖畔から退散した。

今回のコースは、変化に富んだ岩場が続く面白いコースで、岩稜歩行訓練の目的を果たすことができたが、横池湖畔で猪に1mまで迫られるというおまけつきで、早めに下山した。

(記：亀高茂)



西大和教育講座第1回
(テーマ：山行計画・リーダー研修・歩荷)
実技山行：台高の山 学能堂山(1021.4m)

- 【日程】座学：4月7日(金)/実技山行：4月16日(日)・晴れ
【参加者】L 杉森・SL 藤本*・島崎・辻*・(橋本*)・今井*・野路*・(中)・(上田)
(座学9名・実技山行6名：カッコ内は座学のみのお出席者・*印は教育部 staff)
【コース】神末上村〔ミーティング・ルート変更〕(8:40/9:00)＝杉平林道駐車地〔歩荷重量計測〕(9:10/26)～林道・登山道分岐〔現在地確認〕(9:32/46)～P505 付近〔現在地確認・登山道合流点へ戻る〕(9:57/10:01)～林道終点〔稜線までの所要時間計算〕(10:30/38)～稜線：杉平峠(11:16/25)～学能堂山山頂〔昼食〕(11:48/12:28)～白土山(13:02)～雨谷林道分岐(13:07/19)～〔この間枝尾根分岐で現在地確認〕(13:28/37)～小須磨峠(13:40/43)～小須磨谷林道終点(14:05/18)～神末上村(14:33)

西大和山の会教育部主催の2017年度教育講座第1回。4月7日(木)の座学では、昨年度学習した「山行計画」の復習を兼ねて、16日の実技山行の企画から計画概要を参加者全員で検討、併せて「リーダーの役割」についても資料をもとに議論を行った。

実技山行の日は穏やかに晴れ上がったまさに山行日和。本日の主たるテーマは杉森英二氏のリーダー研修である。氏は1週間前の県連初級登山学校でもリーダー研修を受けたばかり、その経験をどこまで生かせるか？



まずは御杖村神末上村に車を止めてミーティングを行う。当初の計画では、美杉町杉平から学能堂山をピストンすることになっていたが、歩荷訓練を兼ねることもあって、「先立つ山行における脚の疲労が回復していないメンバーがいる」との仮定(事実そのとおりだった)のもとに山行ルートを再検討。傾斜が急な杉平ルートを下りに使うことをやめ、学能堂山から白土山を経て神末上村へ至る斜度の緩やかなルートを下りに採用、結果、全体は縦走ルートとなった。車1台を神末上村にデポし、もう1台に6名全員が乗車して杉平へ向かう。

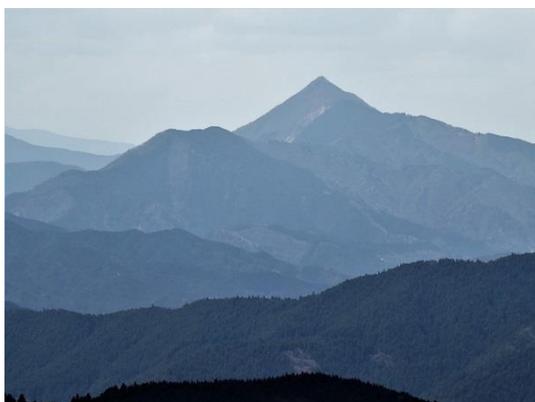
杉平の林道に車を駐車し、歩荷の参考として各自のザックを計量ののち出発。ほどなく林道と登山道の分岐で現在地確認。調査のため、リーダーが指名したメンバー(2名)が林道の先を確認に行く。指定された時間(5分)で戻った確認班の報告によって現在地をほぼ確定、しかしその確度をさらにあげるため、全員で暫く林道を進み、その先で再度合流する登山道へ入ることにする。別の登山道分岐や谷の出合を確認しながら進むも、登山道との合流点を見過ぎて、引返す局面も。



急登が始まる林道終点にて、稜線までの所要時間の見積もりを行う。水平距離 1km あたり 10～15 分、標高差 100m あたり 15 分（登り）/10 分（下り）が目安（個人の体力・体重・ザック重量などにより適宜調整する）。かなりの急登だったが、リーダーがメンバー個々の歩行速度に配慮して無理のないペースを確保。それでも 48 分後の到着と見積もった稜線に 35 分（途中休憩 5 分を除く）で到達、あらためてメンバーの健脚を再認識した次第。



苦しい激登りから開放されてしばらく緩やかな稜線を進めば、半時間たらずで学能堂山頂上。360 度の展望の先はともすれば春霞に没しがちではあるが、室生火山群の山々、そしてひときわ目立つ高見山の鋭鋒にしばし見入る。頂上のすぐ横で昼食中だった団体を避けて、すこし南へ離れた稜線付近で我々も昼食とする。なお、



遅ればせながらここで、緊急連絡先宛てルート変更の報告を行う（本来は変更決定後速やかに行うべきもの）。

学能堂山から南の下りは土壌が柔らかく滑りやすいため、少し気を遣って下る。しかし、杉平峠から北へ下ることを考えればはるかにまだ。その後は緩やかな稜線上の道が続き、白土山を経てまもなく雨谷林道と合流するところから進路の右側に獣除けネットが続くようになる。やがて、小須磨峠の手前、登山道は稜線から外れて急降下、鞍部に向かう。ここで最後の現在地確認。そのまま稜線を進まないよう、分岐には多数の赤テープがつけられていたが、地形図でその尾根を確認して、いかにも間違いやすい地形であることを納得した。小須磨峠からは西へ進路を変え、倒木の多い沢沿いを下れば、やがて右からの水流と出合ったところが小須磨谷林道終点。ここで最後の休憩ののち、あとは林道を上村の車デポ地まで下る。下山後は三多気の桜を皆で鑑賞して本日の教育山行を終えた。



連日の山行に疲れも見せず研修に臨んだ杉森氏、その経験を実践にものにつけつつあるようだ。何かにつけて口うるさい教育部長に嫌な顔一つせず、面倒な教育山行にご協力いただいたスタッフはじめその他のメンバーの皆様にも心から感謝したい。

（記：藤本武司）

講習会報告

日本勤労者山岳連盟近畿協議会主催

近畿ブロック搬出技術講習会

ハイキングコース

【日 程】 4月2日(日)・於：京都府中小企業センター大ホール

【参加者】 L 藤本・今井・野路(3名) / 参加者総計 191名

【プログラム】

09:00：受付開始	葉杖・ドラッグ法・吊上げ
09:50：開会式	法・ヒューマンチェーン法)
09:55：応急手当デモ	12:00：昼食休憩
(創傷手当・止血法・手の	12:30：班別個別実技講習
骨折固定・脚の骨折固定)	14:25：ロープ強度テストデモ
11:00：搬出技術デモ	14:30：講師講評
(鹿ネット担架・ザック連結	14:45：閉会式
担架・ザック背負い搬出・松	14:50：片づけ・解散

5月14日(日)「ハイカーのための搬出講習会」のリーダーを担当することになっている。しかし「何をどの様にすれば・・・」よいのか分からず、教育担当のF氏にご相談した所「近畿ブロック搬出技術講習会に参加されては」とのアドバイスを頂き、初めて参加することとなった。

講習会は「岩コース・・・セルフレスキュー」(於：百丈岩)と「ハイキングコース」からなっており、私が参加したのは「ハイキングコース」の方だ。会場は、主催連盟の方々、参加者の皆様、沢山の方々の熱気が漂っていた。

最初は応急手当のデモ。応急手当を行う際の心得から始まって、基本的な手当方法を実演された。きず、骨折、熱傷、止血方法等。次に搬出技術のデモ。事故が発生した時の心得、またどのようにして搬出するかを実演しながら説明された。私にとってはどれも初めての経験で、ハイキングに持って行っているものを利用しての搬出の仕方であった。良くここまで考えて・・・また改良に改良を重ねて・・・と思うとその姿勢に頭が下がる思いだった。

ただ、たしかに「事故が起こった時に役立つ搬出方法」ではあると思うものの、実際には、鹿ネット担架やザック担架も道幅がないと、また人数も多くないと出来ないのでは・・・と疑問も感じた。その中で「ザックと雨具を使つての担ぎ方」は登山道では一番有効な搬出方法ではないかと思われた。

いずれにしても「事故を起こさない」ことが一番大切なのは言うまでもない。しかし、万一起きてしまった時、「応急手当や搬出技術」を知っているか否かは、場合によって「生死」を分けるほど重大なことに繋がることも知っておくべきだと思った。これからも機会があれば参加したいと思う。

① 応急手当

- ・どの様な状況でも、一呼吸してまず自分を落ち着かせ、回りを落ち着かせ、冷静になって全員の安全を確保する(二次事故の防止・落石・雪崩・滑落・水流)
- ・傷病者の観察(全体・生命の兆候・意識・呼吸)そして応急手当を行う

(医薬品は使用しない)

- ・連絡・通報 110番をする。記録をとる(いつ・どこで・誰が・どうした)。
- ・傷=まず水で傷口を洗い流す。
- ・骨折=観察をする(腫れ・変形・激痛)そのままの状態です。手の場合は三角巾で吊るす。

※捻挫だと思っていたものが実は骨折であったという例が非常に多い→念のため骨折の可能性を考えて対処することが必要。

- ・止血方法:直接圧迫止血=傷口をガーゼやハンカチで強く抑えて止める。
- ・止血方法:間接圧迫止血=直接止血で止まらない時は、心臓に近い動脈を圧迫して止める(どちらも傷病者の血液には直接触れないよう手袋をする)

② 搬出技術方法



・一人で運ぶ(ドラック法)足を組み片方の手を胸に当て脇の下からその手を持って引く

・二人で運ぶ(頭と足)

・三人で運ぶ=膝を立て、事故者の下で手を結ぶ(タオルやシュリンゲなどで輪を作ると安定する)頭側の

人が音頭をとり、一度膝の上に乗せて立ち上がる。

・ザックと雨具での担ぎ方=ストック二本をテーピングテープで合わせて強くする。そのストックに雨カッパの



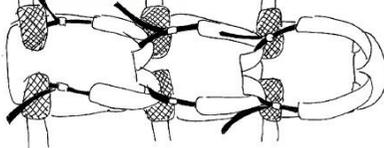
袖を通す。ストックの両端にタオルを巻く(両足を乗せる部分)。ストックとザックをロープで結ぶ。カッパの胴の下部分にカラビナ等を入れて包み、インクノット(マストノット)で結ぶ。残りのロープは担ぐ人の胸で結ぶと、担がれる人が安定する。

・ザック担架の作り方=ザック三個を同じ方向に並べ、シュリンゲなどで結び合わせる。

両側にストックを通して支えとするのも効果的。負傷者の頭部、胸部および脚をシヨルダールベルトで固定して運ぶ。

ザック担架の作り方

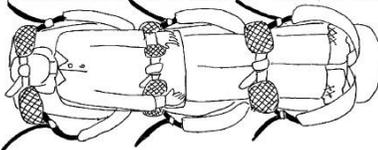
①ザックを3つ並べる



②シュリンゲで結ぶ

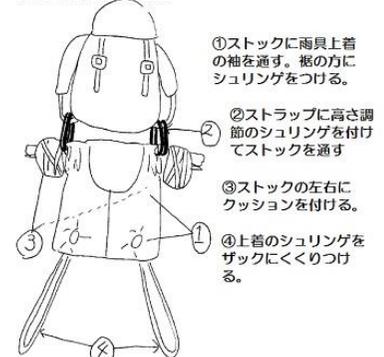


③負傷者をザックのウエストベルトで固定する



- ・鹿ネット担架=ザック担架と同様に、ネット幅約60cmにストック6本を両端に入れて運ぶ(ザック担架よりも簡単だった)。

ザックによる背負い搬出



(記：野路政子)

西大和山の会 第36回定期総会

【日 時】2017年3月26日(日) 13:00~15:20 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、林、辻、勝尾、藤本、杉村、高橋、
阪口、橋本、今井、亀高、亀井、船江、中、杉森、上田、永井

1. 開 会 島崎会長
2. 議長選出 議長 亀井
3. 資格審査時報告 登録会員 27 名中 20 名出席(委任状 6 名)で総会成立
4. 議案 1: 第 35 期活動報告
議案 2: 第 35 期会計決算報告・第 35 期会計監査報告
活動報告、決算報告、会計監査報告は、すべて挙手をもって承認される。
5. 議案 3: 第 36 期活動報告(案)
5 ページ 1 項目の 2) 遭難対策基金→新特別基金に名称訂正
〃 3 項目の 2) ②2017 年→2018 年に訂正
6. 議案 4: 第 36 期会計予算 (案)
活動報告(案)、会計予算(案) ……挙手をもって承認される。
7. 議案 5: 西大和山の会山行規定(改定案) ……挙手をもって承認される。
8. 議案 6: 山行計画及び山行報告の会報・HP への掲載について(改定案)
12 ページ A(2) : 『自主山行については必要に応じてその内容を HP の「自主山行情報」に公表する。なお、「自主山行情報」には山行日程、リーダー名、山域と山名を記載する。』
↓
『必要に応じて』を削除し、『自主山行については内容を HP の「自主山行情報」に公表する。(後略)』と訂正 ……挙手をもって承認される。
9. 役員選出
(会長)島崎 隆/(副会長)辻 康司、勝尾栄美子/(会計)杉村好子/(事務局)橋本紀子/(会報部)亀高茂/(教育部)藤本武司/(女性部)今井雅代/(会計監査)田中初子
10. 島崎会長挨拶
11. 閉 会

★ 自主山行 HP 公表について

山行を計画するリーダーは、HP 管理者に山行日程、山域、山名を提出する。
参加者募集終了になった時にもその旨 HP に明記するので HP 管理者に連絡の事。

★例会山行が行われる日に自主山行を行うことについて、何らかの山行規定を設ける等今後考えていく。

★3 県連主催訓練・講習会・クリーンハイク車両費会計予算未計上に伴う車両代計算について

本会例会山行 1、2 として取り組んでいるので、通常通りの車両計算とする。
広域搜索訓練は県連より車両費として 1 台当たり 2,000 円支給されるので、それを差し引いての計算とする。

(記: 橋本紀子)

室内例会だより

【日時】2017年3月26日(日) 15:30~16:50 事務所

【出席者】藤井、田中悦、島崎、田中初、林、辻、勝尾、藤本、杉村、阪口、橋本、
今井、亀高、亀井、船江、中、杉森、上田、永井

1. 山行計画

- 4月2日(日) 公開山行 例会山行1 金剛山地《金剛山 1,120m》……………L 辻
- 4月23日(日) 例会山行2 鈴鹿の山《鎌ヶ岳 1,161m》……………L 藤井
- 5月7日(日) 例会山行1 兵庫県《小野アルプス紅山 182m》……………L 田中悦

2. 教育部主催「教育講座」(担当:藤本)

第1回座学 4月7日(金)、実技山行 4月16日(日)

3. 山行報告

- 2月18日 教育山行 大峰の山《天女ノ舞 (P1518にて撤退)》L 杉川……………8名
- 2月26日 例会山行2 鈴鹿の山《竜ヶ岳 1,099.6m》L 島崎……………5名
- 3月5日 例会山行1 比良の山《堂満岳 1,057m》L 辻……………6名
- 3月12日 例会山行2 中国山地《千ヶ峰 1,005.2m》L 田中悦……………13名
- 3月19日 自主山行 鈴鹿の山《入道ヶ岳 905.6m》L 島崎……………8名

4. 連絡その他

★県連関係

- ・初級登山学校開催について

県連教育部が空席のため、藤本代表理事(西大和)・杉川(4月より奈良労山)、アドバイザー中武前教育部長で実施される。

- ・4月2日(日)近畿ブロック搬出技術講習会 於:京都府中小企業会館

本会出席者:藤本(奈良県連救助隊事務局)、今井(奈良県連女性部)予定

来年度は奈良県連の主催となり女性部が応急手当講習会を行う。

★本会より

- ・4月2日の公開山行は一般公募せず、知人・家族の範囲で実施するが、現時点で参加者がいなく会員のみでの参加となるため、上牧町役場駐車場7時集合に変更。
- ・室内例会時での例会山行の参加確認で未定(△)とした人は、その返事を山行実施日の10日前までにリーダーに参加の有無を必ず連絡する事。
- ・3月末で多賀さん、杉川さん本会退会されます。
- ・怪我をされた亀井さんは体調がまだ戻らないためしばらく会活動を休まれます。
- ・本会入会希望の川田和代さんが4月室内例会に参加される予定です。

★ヒヤリハット報告

3月5日(日)「堂満岳」山行で下車駅乗り越しのため30分遅れのスタートとなる。下りでルートから外れていることには気付いていたが、谷筋のトレース跡を下ってしまい、100m程の急斜面を登り正規のルートに戻った。道迷い、ルートを外した場合、元の地点に戻ることを怠り、下山時刻が予定より2時間遅れとなった。

(記:橋本紀子)

西大和つうしん

第419号（2017年5月号）

2017年4月26日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会

〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32

窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

<http://www.nishiyamatoyama.com/>